

平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	独立行政法人交通安全環境研究所 運営費交付金（一般勘定）		担当部局庁	自動車局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度～		担当課室	技術政策課		課長 江角 直樹		
会計区分	一般会計		政策・施策名	11 ICTの利活用及び技術研究開発の推進 41 技術研究開発を推進する				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	独立行政法人通則法第46条 (独立行政法人交通安全環境研究法)		関係する計画、 通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	交通安全環境研究所に陸上運送等に関する安全の確保、環境の保全及び燃料資源の有効な利用の確保を図るための調査、研究及び開発等を行わせるための業務の運営に必要な経費。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の安全／環境基準案の策定、国際基準調和活動 ・鉄道等の都市内公共交通機関のシステム評価と実用化推進 ・国の目標達成のための先導的技術開発(インフラ整備や法制・基準策定などを必要とする先進的技術開発)における産学官連携等の中核的役割等国の目標に直結した業務を行う。 							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	747	854	753	706		
		繰越し等	-	-	▲ 45	-		
		計	747	854	708	706		
	執行額	747	854	708				
	執行率 (%)	100%	100%	100%				
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	基準の策定等に資する検討課題等の提案件数		成果実績	件	20	20	21	20
			達成度	%	100	100	105	
	基準の策定等に資する検討会への参画、調査、研究等を実施する基準化予定項目の件数		成果実績	件	14	14	12	8
			達成度	%	175	175	150	
	受託研究の実施件数		成果実績	件	58	70	67	-
			達成度	%				
	競争的資金の獲得		成果実績	件	9	6	6	-
		達成度	%					
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	実施した研究テーマ数		活動実績 (当初見込 み)	テーマ	23	19 (19)	18 (18)	- (20)
単位当たり コスト	運営費交付金のため対象外		算出根拠	運営費交付金のため対象外				
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	独立行政法人交通安全環境研究所運営費交付金	706						

	計	706	
--	---	-----	--

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	・国が実施する関連行政施策の立案や技術基準の策定等を支援するための研究などを行うものであり、優先度が高く、国が実施すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	・運営費交付金はすべて交通安全環境研究所において使用されており、費目・使途も必要なものに限定されている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—				
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	・国が実施すべき事業を担う独法の運営に必要な経費を交付するものであり、交付金以外の手段はない。 ・24年度目標に対して、目標値を超える成果を上げている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検 結果	<p>基準の策定等に資する検討課題等の提案件数、基準の策定等に資する検討会への参画、調査、研究等を実施する基準化予定項目の件数について掲げられた数値目標を達成し成果を上げているとともに、その成果は国の関連施策の立案や技術基準策定に活用されている。 国が実施する関連行政施策の立案や技術基準の策定等を支援するための研究など、民間や大学ではできない調査研究へと特化し、研究内容の重複排除を図っている。 また、契約監視委員会を設置し、契約状況の点検・見直しを行う等の取り組みを行ってきており、引き続き、適切な予算執行の確保を図ることとしている。</p>					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	323	平成23年	0301	平成24年	0309

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

国土交通省
708百万円

国の行政に必要な技術的知見を得るための研究開発を交通安全環境研究所に行わせる。



A. (独)交通安全環境研究所
708百万円

運輸技術のうち陸上運送等に係るものに関する試験、調査、研究及び開発等を実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					